

平成 24 年度を迎えて

国大化学会会長 平井太一郎（昭和 41 年 2 部応化卒）

1. 1 年を振り返って

平成 23 年 4 月に会長に就任し、1 年余りが経ちました。

国大化学会第 3 期目の方針として昨年 4 月に以下の 5 つを掲げ、1 年運営してまいりました。

[3 期目—平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月—の方針]

- * ネットワークの充実と国大化学会会員相互の交流
- * 学生支援（OB・OG と語る会 教育研究支援）
- * 就職支援
- * 会費納入促進
- * 諮問委員の設置

1 年を振り返り、進捗したもの、進捗が充分でなかったものがありました。

進捗したもの、

- ・ 昨年、今年と同窓委員会は総会当日の開催が定着してきました。参加者も 50 人を超え実質討議がなされ充実したものとなってきています。
- ・ 成績優秀者表彰の副賞として図書券の授与を始めました。学生の勉学の意欲一助になればと思います。
- ・ 就職支援は大学の就職支援体制への参加を始めました。また国大化学会として独自に、就職準備講座の開催を開始しました。
- ・ 諮問委員を会長経験者の樋口氏、米屋氏にお願いして、横浜国立大学工学部同連合の今後の在り方を提案できる体制を整備いたしました。

進捗の充分でなかったもの

- ・ 同窓委員会の名簿の拡充に手が回らず新たな同窓委員の追加はできていません。また同窓委員を通しての会員の相互交流、どのようなことができるかの具体的企画提案はまだなされていません。
- ・ 会費納入は年年減少傾向にあり、この改善に具体策の企画を検討する必要があると考えています。

今年度は従来の活動に加えて、次のことに重点を置き注力していきたいと思っておりますので、会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

- ・ 同窓委員会の名簿の拡充と、名簿を利用して会員相互交流をどのようにしていくか。



- ・ 会費納入の促進の具体化
- ・ 就職支援体制の充実：就職準備講座の 2 回開催
- ・ 教育研究支援の拡大
- ・ 会員名簿の発行をどのようにするかを検討

2. 第 6 回国大化学会総会の開催

平成 24 年 6 月 16 日（土）に横浜陽軒本店で、第 6 回国大化学会総会を開催いたしました。ご来賓には鈴木邦雄学長、石原修工学研究院長・理工学部長、三宅淳巳理工学部化学・生命系学科長、井上誠一横浜工業会理事長、永井孝雄国大生産工学科同窓会会長、上ノ山周横浜三工會会長、平山次清弘陵造船航空会会長の出席をいただき、盛会に開催いたしました。

ご来賓として鈴木邦雄学長のご挨拶をいただき、総会に入り議事を無事終了いたしました。

監査役梅津敏裕氏逝去に伴い、新たに熊代幸伸氏（昭 39 電化卒）を選任いたしました。

総会の講演会は井上誠一先生の司会で開催いたしました。総合科学技術会議議員、前東京工業大学学長の相澤益男氏（電化 41 年卒）をお招きし、「グローバル時代の科学技術と人材育成」とのご講演を賜りました。日本の科学技術の現状（世界の中での位置づけ）及び日本の国としての“第 4 期科学技術基本計画、総合科学技術会議の最先端・次世代研究開発支援プログラム”それを進めていく上で大切なのはグローバル人材の育成が重要であり、大学・大学院教育の改革がなされることが必要であるとのお話をなされた。出席していた若い研究者、学生にとっても多くの示唆があった講演でした。相澤先生ありがとうございました。

懇親会に移り、工学研究院長・理工学部長石原修先生、理工学部化学・生命系学科長三宅淳巳先生からご挨拶をいただき、樋口 修一郎初代会長の音頭により乾杯、懇親の場となりました。

国大化学会の総会の特徴として多くの学生会員の参加を呼びかけてきました。今年も多く学生会員(今回参加者の1/3は学生)が出席してくれました。懇親会で先輩に接して、言葉を聞き、先輩と話すことで、先輩から多くのことを学び取ってほしいと思います。講演者の相澤先生も積極的に学生会員と話されておられたお姿が印象的でした。2時間弱の

懇親会も多くの参加者には短すぎるようでした。

13時半に始まった国大化学会同窓委員会、引き続き総会、懇親会と19時半までの1日でした。

運営に当たった役員の皆様、事務局の滝さん、牧野さん、反町さん及びお手伝いをいただきました学生の方々本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。

来年の会場についての検討が進んでいます、崎陽軒？ 大学？ 早い時期に決めてお知らせいたしたいと思います。本年度もよろしく願いいたします。